2025 年 10 月 23 日

沼間小学校地域連合会 書記

沼間小学校地区連合会(住民自治協議会) 9 月代表者会議 議事録

日時:2025 年 9 月 27 日(土)15:00～16:30

場所:沼間コミュニティセンター 学習室

出席:会員 17/所属 27 団体＝63.0%(会議成立)

協力団体:3 名(沼間中学校、社会福祉協議会、東部民生委員児童委員)

逗子市役所:2 名(地域担当職員)

1.会長挨拶

本日はご多用の中ご出席いただきありがとうございます。9 月の代表者会議を始めます。まずは各団体からの報告事項をお願いします。

2. 議事

(1)活動報告及び地域の情報 (詳細は活動報告資料を参照)

①逗子市、県との連携

②地域づくり事業

●逗子竹活 in 沼間より(逗子竹活 in 沼間 内山氏)

夏合宿をしたり、新メンバーが入ったりした。また雑誌種苗界に当活動が掲載され、全国に配られた。逗子アートフェスティバルでは沼間あるあるのお手伝いをする。

● 防災安全部会より(防災安全部会 磯部氏)

来月の防災訓練について、各自治会への周知と備蓄品の再確認をお願いする。避難所運営マニュアルの改訂版も次回お配りする。

③自治会、町内会、管理組合の活動

● 桜和会より(桜和会 大田原氏)

桜和会では、町内会としては初めての日帰りバス旅行を 2025 年 10 月 23 日に実施予定。旅行業に携わる町内会員の協力を得て、山梨方面への企画が実現。参加者は 15 名を予定し、会費 11,000 円のみで運営(会からの補助なし)。今後の反響次第で恒例化も視野に入れている。

④会員団体との協働活動

● ズシップ沼間地区連合会より(ズシップ　清氏)

9 月 30 日に地域センターで開催予定の「高齢者の集い」について。当日は市長や議長の出席も予定されており、長寿者のお祝い(77 歳、88 歳、100 歳)や舞踊、バザー、作品展、音楽・体操のステージ企画など、盛りだくさんの内容で「盛大に実施したい」とのこと。臨時バスも市役所から運行され、10 時～15 時半の開催予定。

■ 沼間小学校地区避難所運営委員会より(避難所運営委員会　内山氏)

前日に沼間小で企画会議を実施し、訓練前の確認として各班の役割や物資の所在などを共有。今後は、10/24 に中学生による実践訓練(発電機・仮設トイレ設置等)、10/27 に森の里で福祉避難所訓練、11/7-8 に自治会ごとの訓練を実施予定。年 1 回の訓練では不十分との認識のもと、継続的訓練と住民参加の促進を目指す。

■ 東逗子商栄会より(商栄会　矢島氏)

10 月 5 日に朝市を開催予定。前回好評だったギター演奏の方が再登場予定。夏場は来場者が減ったが、今回は多くの参加を期待している。なお、同日の運動会に向かう前に朝市で朝食を購入してから参加することを呼びかけた。

⑤協力団体の活動

■ 沼間小学校より(沼間小学校　雨宮氏)

久しぶりの出席との挨拶の後、現在は夏休み明けで成績処理など学校全体が多忙な時期と説明。9 月 22 日～10 月 17 日まで「授業参観月間」として、地域や保護者に向けて学校を自由に開放しており、関心のある方には「ぜひ来校して子どもたちの様子を見てほしい」と呼びかけた。

また、PTA からは小学校体育館のエアコン設置に関する市への要望が提出されたことも報告された。

■ 社会福祉協議会より(社会福祉協議会　木村氏)

9 月 1 日より「ボランティア入門講座」の申込みが開始された。講座は、①90 分の動画視聴(10/24～30)、②選択制の対面講座(11/3、福祉会館にて「コーヒー」「学習支援」「災害支援」の 3 講座から 1 つ以上受講)、③職員との個別面談、の 3 構成。定員は 30 名で、すでに申込みもあり。申込は電話または QR コードから。また、東部地区の担当職員として発言者と小山氏が就任、中部は平山氏、西部は飯島氏が担当。AI 生成の顔写真付き紹介も案内された。

■ 東部地域包括支援センターより(東部地域包括支援センター　宮崎氏)

10 月 6 日(月)10:00～11:30、沼間ファミリー広場にて「コグニサイズとポールウォーキング体操」を開催予定。雨天中止。また、10 月 23 日(水)10:00～11:45 には「“浮けない”ための顔トレ講座」を実施予定。講師は、歯科衛生士と笑顔トレーナーの 2 名。定員 30 名で申込制。希望者は包括支援センターまで連絡を。

■ 東部民生委員児童委員より(東部民生委員児童委員　坂口氏)

民生児童委員で構成される「民生委員だより(季刊)」を 600 部印刷し、秋号を現在配布中。ひとり暮らし高齢者(約 490 名)を中心に見守り活動を行っており、二人暮らしでも気になる方にも声がけを実施。地域の見守り強化

を継続していく方針。だより裏面には頭の体操も掲載。

⑥市からの情報

■ **逗子市より(地域担当リーダー　雲林氏)**

市からのお知らせとして 4 点紹介:①JR 東逗子駅前用地活用事業の基本計画変更について 10 月 11 日に説明会開催(午後はオンライン対応) ②国勢調査(9/20～10 月下旬)の訪問調査開始 ③逗子アートフェスティバル(10/4～10/20)市内各所で開催、参加型イベントもあり ④逗子文化祭(10/24～11/9)文化プラザ等で演奏・囲碁大会・劇団公演など。各情報は広報 10 月号に掲載、チラシはコミセンにも配架中。

⑦その他情報:特になし

4. **当会より**:特になし

5. **グループワーク**〔テーマ:防災・避難対応等について〕別紙参照

6.次回会議予定

10 月代表者会議:10 月 25 日(土)15:00～(1 時間程度)　沼間小学校区コミュニティセンター2 階学習室

以上

【別紙資料】　2025.9.27

2025年9月代表者会議　グループワーク　まとめ

【テーマ：防災・避難対応等について】

災害時の対応・自主防災組織の実態・要支援者への対応・備蓄状況・消火対応などを話し合った。

Aグループ

・避難訓練に参加者が少ない。

・自主防災組織としては機能していない。

・避難所への移動できるか心配（車椅子などの人も含め）。

・在宅避難が長期になると心配。

・安否確認把握のための黄色タオルを作成し訓練を行った。

Bグループ

・自治会として公式ラインアカウントを開設している。

・安否確認のために黄色タオルで把握。

・役員・班長などが1年交代で継続が困難。

・避難訓練を行っても実際とのギャップがあるだろう。

・行政としても避難所解説のタイミング・職員配置など課題がある。

・社会福祉協議会としては災害訓練を行っているが備蓄品、建物の老朽化が課題。

・自助（先ずは自らの備えと命を守る行動）、そして共助。

・防災課、避難所運営委員会による避難訓練に参加者が少ない（人手不足）。

Dグループ

・近年の大雨で土砂災害が心配。

・先日は大雨で川の氾濫があった。

・崖崩れ対策はされているが、上の樹木の倒木が心配。

Eグループ

・安否確認のための黄色タオルを手作りで作成し避難訓練を実施。

・災害時の心得としてチェックシートを配布　仮設トイレ体験行う。

・福祉避難所としての開設の準備がある（杜の郷）。

・自治会倉庫の備蓄品には限りがあり心配　スタンドパイプ・消火器の訓練。

・民生委員児童委員としては先ず、自身と家族そして共助へ。

その他

＊1．工夫をされながら避難訓練を行ってはいる。

＊2　役員不足。

＊3　在宅避難を重視で考える。

以上